



平成30年9月 静岡県水産技術研究所伊豆分場ニュース

## 西伊豆産水産物の駿河湾横断流通 2年目の挑戦



←神経メ  
カンパチを  
梱包する  
漁協職員



飲食店で提供された「スルメイカの活造り」

伊豆漁協西伊豆統括支所(西伊豆町仁科)は昨年度から西伊豆産水産物の新規販路開拓のため、駿河湾フェリーで西伊豆産水産物を静岡市へ送る「駿河湾横断流通」の取組を実施しています。

今年度1回目の取組として8月28日に、活スルメイカや神経メの定置網漁獲物(カンパチ等)をフェリーを利用して静岡市内の飲食店に輸送しました。同漁協は通常、盛夏に活スルメイカを出荷しませんが、飲食店からの要望を受け、今回出荷することになりました。チャレンジングな取組ではありましたが、輸送中の水温管理を徹底するなどし、無事飲食店まで送り届けることができました。また、神経メの魚も今回が初めての出荷でしたが、「弾力があり味も濃い」と料理人に好評でした。漁協は今後も出荷物や輸送工程等を変えて輸送試験を実施し、利益を確保できる流通体制の構築を進める予定です。

### 下田市田牛でカジメ調査

黒潮大蛇行が継続するという予測が出されており、伊豆地域ではカジメの磯焼けの発生が懸念されます。当场では過去大規模な磯焼けが発生した下田市田牛地先で、8月から月1回ずつ潜水調査を行います。8月の調査で、田牛ではカジメが充分繁茂していることが確認され、磯焼けは発生していませんでした。今後、磯焼けの発生が確認されたらアワビの移殖等の対策を指導します。



↑ 繁茂しているカジメとイサキ魚群

### 下田市白浜でマダイ放流体験

静岡県内では、マダイの稚魚を放流し資源を増やす栽培漁業が毎年行われています。白浜地区では、8月22日に白浜地域振興協議会主催の放流体験が行われ、夏休み中の小学生らによって稚魚1万2千尾が板戸港内へ放流されました。台風などの影響で放流が遅れていましたが、この後行われた田子地区での放流をもって伊豆地域での放流は終了しました。



↑ 白浜地区の小中学生による体験放流の様子

解説：マダイの放流場所：これまでの調査研究から、放流適地は水深が浅く波浪の穏やかな港内とされています。

**9月の予定** ●キンメダイ種苗生産研究のために親魚捕獲、船上授精を行います。 ●16日からイセエビ刺し網の操業が始まり、漁獲物調査を行います。 ●フェリーを利用した西伊豆産水産物の静岡地区への試験流通を実施します。 ●県東部漁業士と県行政との意見交換会が28日に東伊豆町で行われます。

連絡先：静岡県水産技術研究所伊豆分場 〒415-0012 下田市白浜251-1 電話：0558-22-0835

アドレス：suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp ホームページ：http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu